

第5回全国チョウ類保全シンポジウム ー ギフチョウ ー

2011年1月22日(土)

10:00 ~ 16:30

アザレアホール (奈良県御所市)

特別講演：海野和男氏 (昆虫写真家)



ギフチョウ

Luehdorfia japonica

春早く、桜の咲く頃にだけ姿を現します。日本にだけ生息する特産種で、その美しさから古くより人気を集めてきました。明治時代に岐阜県で発見されたことにちなみ、「ギフチョウ」と名づけられました。

奈良県と大阪府にまたがる大和葛城山には、豊かな自然環境が広がり、都市近郊の散策地として、多くの観光客が訪れます。

ここには、里山のシンボル「ギフチョウ」も生息しています。しかし、ギフチョウが見られる場所は、大阪府や奈良県では非常に少なくなっています。

今回、身近な自然環境について考えるとともに、将来にわたって環境を保全してゆくためにはどうすればよいのかを話し合う場を企画しました。

身近な自然に興味のある方、里山の保全に関心のある方など、多くのご参加をお待ちしています。

主催 特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会

共催 大阪みどりのトラスト協会、大和葛城山の自然を大切にする会、御所市

協賛 三井物産環境基金、御所市観光協会

後援 千早赤阪村、日本自然保護協会、日本鱗翅学会

全国チョウ類保全シンポジウム

全国チョウ類保全シンポジウムは、2007年1月の岐阜県を皮切りに、全国各地で開催しています。これまではギフチョウやオオムラサキをテーマに地域の自然環境の保全を考える場として、開催してきました。5回目となる今回は、ギフチョウをテーマに地域の自然環境の保全を皆様とともに考えていきたいと思っています。

プログラム

9:30 開場

10:00 開会

(1) 特別講演 「チョウのたのしみ方」 10:10～11:20

海野和男（昆虫写真家・日本自然科学写真協会会長）

(2) 基調講演 「金剛・葛城山地におけるギフチョウ」 11:20～12:00 渡辺康之（日本鱗翅学会）

休憩 12:00～13:00

(3) 基調講演 「金剛・葛城山地における植物」 13:00～13:30 森本範正（奈良植物研究会）

(4) 自然環境を守る活動報告 13:30～14:50

講演／大和葛城山におけるギフチョウおよびユリ類の保全活動

天満和久（(財)大阪みどりのトラスト協会）・竹田義（大阪府立花の文化園園長）

講演／大阪北部におけるギフチョウの保全活動

森地重博（能勢のギフチョウを守る会）

講演／桜井市 山野草の里づくりの会の取り組み

福岡定晃（NPO法人 山野草の里づくりの会）

講演／奈良市におけるナゴヤダルマガエルの保全活動

井上龍一（紀伊半島野生動物研究会両生は虫類グループ）

休憩 14:50～15:10

(5) パネルディスカッション 15:10～16:30 金剛・葛城山地の自然を守る

16:30 閉会

(17:15 から懇親会)

特定非営利活動法人（NPO法人）日本チョウ類保全協会

2004年6月に発足し、チョウをシンボルとして、自然環境の保全をすすめています。絶滅の危機にあるチョウ類の調査や保全活動を進めているほか、保全に関する広報・啓発活動なども幅広く行っています。現在会員数は約500名で、チョウの好きな方や自然写真の愛好家、自然保護活動に賛同される方など、全国の方々にご参加いただいています。絶滅が迫ったチョウを1種でも救うために、みなさまのご協力を！ ご入会をお待ちしています！

お申し込み

■参加費：無料（シンポジウムのご参加申し込みは必要ありません）

■会場：アザレアホール内文化ホール（御所市役所のとなり）〒639-2200 奈良県御所市13 TEL:0745-65-2580
最寄駅は、近鉄御所駅・JR御所駅より、徒歩：約10-15分、タクシー：約5分。

自動車：御所市役所を目指してお越しください。有料道路では、南阪名道路葛城I.C.が最寄りです（会場まで所要時間約20分）。駐車場はありますが、台数に限りがありますので、なるべく、電車にてお越しください。

※詳しくは、<http://www.library.gose.nara.jp/> をご覧ください。

■懇親会：シンポジウム終了後、懇親会を行います（会費3000円。場所は御所駅より徒歩可です）。会場の人数に限りがございますので、参加ご希望の方は、下記まで事前にお申し込みください（先着順となります）。

■昼食：会場の近くには、飲食店やコンビニエンスストアが少ないため、昼食はご持参ください。

お問い合わせ先

■特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会

140-0014 東京都品川区大井1-36-1-301 TEL/FAX 03-3775-7006・080-5127-1696

E-mail:jbcns@japan-inter.net <http://japan-inter.net/butterfly-conservation/>



大豆油インクを使用しています

写真提供 松實孝裕